

令和元年 1 1 月

袋井市議会定例会

代表質問通告内容

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
袋井市議会を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ
携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

代表質問通告議員

| 実施日時 | 質問順 | 会派名 議員名 | 質問形式 | ページ |
|----------------------|-----|------------------|------|-----|
| 12/3 (火) 午前9時00分～ | 1 | 自民公明クラブ 戸塚 哲夫 | 一括 | 3 |
| 12/3 (火) 午後1時15分～ | 2 | 日本共産党 高橋 美博 | 一括 | 8 |
| | 3 | 緑風会 伊藤 謙一 | 一括 | 10 |

調整の結果、答弁者（市長、教育長）が変更される場合がありますので御了承ください。

| 質問順序 | 1 | 会派名 | 自民公明クラブ | 質問者 | 戸塚 哲夫 |
|-------------------|--|-----|----------------|-----|--------------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 1 | 令和2年度予算編成について 本市の来年度予算編成に当たっては、国政の動向を踏まえ、社会経済状況の変化や市民ニーズの対応を図りつつ、限られた財源の中で、財政の健全化を保ちながら、歳出改革や効率化に取り組まなければなりません。 そこで、来年度予算編成について何点かお伺いします。 (1) 令和2年度予算編成の基本的な考え方と基本方針についてお伺いします。併せて、一般会計の予算規模はどの程度を想定されるか。 (2) 平成31年度の施政方針で掲げた市政運営の基本方針や重点取り組み項目等の実施状況について、どのように検証されたのか。 (3) 令和2年度の重点施策、新規施策、拡充施策について、その理由と具体的な内容をお伺いします。また、廃止・縮小事業についても、理由をお伺いします。 (4) 歳入における税外収入等による財政確保策及び市債・基金の活用について、どのように考えているかお伺いします。 (5) ICTによる自治体経営が本格化する場合、庁内マネジメント体制をどのように考えるか。また、職員のICT教育の在り方・進め方をどのように考えるかお伺いします。 (6) 令和2年度予算における自治会要望に対する考え方及び対応について、お伺いします。 | | | | 市長 |
| 2 | ラグビーワールドカップ2019について 日本代表チームの活躍により大変な盛り上がりを見せたラグビーワールドカップは、南アフリカの優勝で閉幕した。特に、エコパスタジアムで行われたアイルランド戦は、日本代表チームが見事勝利し、「エコパの奇跡」「静岡ショック」と言われ、本市の名を全国、さらには世界に発信することができた。この大会の成果を一過性に終わらせてはならない。 (1) ラグビー普及に、今後、どのように取り組まれていくのかお伺いします。 (2) 今後も、さまざまな方法、さまざまなイベントを活用し、より効果的に袋井市を情報発信していくべきではないでしょうか。お伺いします。 | | | | 市長 |

| 質問順序 | 1 | 会派名 | 自民公明クラブ | 質問者 | 戸塚 哲夫 |
|---|-----------------|-----|----------------|-----|--------------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| <p>(3) エコパへの来場者の市内での消費拡大や、観光施設の誘客する仕組みづくりに関してお伺いします。</p> <p>(4) 今後、ますますグローバル化の進展が予想される中、どのように国際化に取り組んでいくのかお伺いします。</p> | | | | | 市長 |
| 3 | 豪雨対策について | | | | 市長 |
| <p>(1) 河川等整備計画策定について 袋井市河川整備10箇年計画が、来年度は最終年度となる。次期の計画策定に当たり、市の方針をお伺いします。</p> <p>ア 河川整備計画では、河川の整備目標が示されているが、進捗状況はどうか。</p> <p>イ 袋井市中部豪雨災害対策アクションプランに示された床上浸水被害の解消の現状はどうか。</p> <p>ウ 近年の集中豪雨では、外水氾濫が頻発しているが、堤防補強対策はどうか。</p> <p>エ 次期計画策定に当たり、河川整備目標をどのように設定していくのか。</p> <p>(2) 河川の堆積土の計画的な除去の実施について</p> <p>(3) 災害ごみの処理等の対策をどのように考えているか。</p> <p>ア 台風や集中豪雨による河川等の氾濫により、どの程度の浸水被害が発生すると想定しているか。</p> <p>イ 浸水被害等による災害ごみの発生量は、どの程度になると想定しているか。</p> <p>ウ 災害ごみの処理対策はどのように考えているか。また処理しきれない場合、近隣自治体との連携は確立されているか。</p> | | | | | |

| 質問順序 | 1 | 会派名 | 自民公明クラブ | 質問者 | 戸塚 哲夫 |
|-------------------|---|-----|----------------|-----|--------------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 4 | 公立・公的病院の再検証要請を受けて 今年9月26日、厚生労働省は、全国1,455の公立病院や日本赤十字社等の公的病院のうち、診療実績が乏しく、再編・統合の議論が必要と判断した全国424の病院名を公表した。今回の公表を受け、県では各圏域における病院間連携の現状を検証し、今後の在り方を議論した上で、年度内に再検証の報告を国に提出するとしていることから、次の3点についてお伺いします。 (1) 厚生労働省が再検証が必要な病院名を公表した上での再検証要請に打って出たことに対して、公立病院統合へ導いた当事者としての所見をお伺いします。 (2) 県とは、これまでにどのような話し合いの場が持たれ、対応を協議されているのか。また、袋井市として、どのような主張をされたのかをお伺いします。 (3) 再検証の報告以外の対応について、将来に向けて中東遠医療圏の医療体制を守る上で、医療圏域としての対策について、どのように考えていくべきかをお伺いします。 | | | | 市長 |
| 5 | 袋井市の農業の在り方について 2015年農林業センサス結果書のとおり、袋井市においては、農地の集積・集約化や農業生産基盤の整備を進めたことにより、農家1戸当たりの産出額は、静岡県内でも高い生産性を誇っているが、農業就業人口の減少や農業者の高齢化などによる労働力の低下が進行するとともに、食の安全・安心や環境問題への貢献などの対応も求められている。 (1) 消費拠点と生産拠点の近接化への取り組みの必要性について (2) 農業の多様な機能の活用について (3) 学校教育における農を活かした体験活動における成果と課題について (4) お茶の消費志向の変化を「コト消費」で取り込む考えについて (5) 農作業請負事業について (6) 人・農地プランの実質化について | | | | 市長 教育長 |

| 質問順序 | 1 | 会派名 | 自民公明クラブ | 質問者 | 戸塚 哲夫 |
|-------------------|--|-----|----------------|-----|--------------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 6 | 活力みなぎる産業のまちを目指すために (1) 商業振興の現状と今後について ア 市内商業の現状をどのように捉えていますか。 イ 今後の市内商業振興の方針はどのように考えますか。 ウ 商業振興条例の意義をどのように捉えていますか。 エ 袋井市商業振興条例の制定の考えはありますか。 (2) 観光振興の現状と今後について ア 袋井市の観光の現状をどのように捉えていますか。 イ 観光振興条例の意義をどのように捉えていますか。 ウ 次期観光基本計画の策定と並行し、袋井市観光振興条例の制定の考えはありますか。 | | | | 市長 |
| 7 | 子育て支援事業 「子育てするなら袋井市」を掲げ、子育て支援事業を市の最優先事業の一つとして取り組んでいるが、現状と今後の方針についてお伺いします。 (1) 今年度の保育所等への待機児童数は、58人と県下でも最多の状況になったが、今後の改善の見通しはどうか。 (2) 今年度の公立幼稚園は、全園が定員割れになっており、入園率も57.7%となっているが、今後の見通しはどうか。 (3) 公立幼稚園の定員割れを防ぐため、延長預かり保育の拡充や地域型保育事業などとの連携は進んでいるか。 (4) 今後、公立幼稚園では、認定こども園への移行など制度的見直しの必要性もあると思うがどうか。 | | | | 教育長 |

| | | | | | |
|--|---|-----|---------|-----|-------|
| 質問順序 | 1 | 会派名 | 自民公明クラブ | 質問者 | 戸塚 哲夫 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| <p>8 自治会長など地域役員の負担軽減について</p> <p>それぞれの地域において、自治会や自治会連合会、また、コミュニティセンターが主体となり、地域の特性を活かしたさまざまな活動が展開されるとともに、地域コミュニティの維持や機運の醸成に努めている。しかし、現状はライフスタイルや価値観の多様化などから、地域住民の協力度が低下している。</p> <p>(1) 地域役員の負担が増加しつつある現状を市はどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 地域役員の負担軽減に向けて、どのように対応しようと考えているのか。</p> | | | | | 市長 |

| 質問順序 | 2 | 会派名 | 日本共産党 | 質問者 | 高橋 美博 |
|-------------------|--|-----|-------|-----|-----------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 1 | 消費税増税に伴う経済対策について 政府は、消費税増税による影響を緩和する経済対策を実施しているが、効果が上がっていない。本市の状況を伺う。 (1) 消費増税緩和対策「プレミアム付き商品券」の申請状況はどうか。 (2) キャッシュレス環境整備はどこまで進んだか。 | | | | 市長 |
| 2 | 国民健康保険税の税率等の改正について 国保県単位化に伴い、県から資産割を除いた3方式の標準保険料が示されおり、本市もいずれ、現行の4方式から転換が必要となる。早期の対応を望む。 (1) 市は、税率改正にどのように対応する考えか。 (2) 市が考える税率改正の時期と改正による問題点をどう認識しているか。 | | | | 市長 |
| 3 | パワハラ防止法施行への対応について 今年5月、職場でのパワーハラスメント防止を企業に義務付ける「労働施策総合推進法」の改正が可決成立した。本市でのパワハラ防止の取り組みを伺う。 (1) 国の法律施行をどう捉えているか。 (2) 市の対応（相談窓口の設置、チェックリストの作成など）はどうか。 | | | | 市長 |
| 4 | 食品ロス削減対策について 「食品ロス削減推進法」が今年10月から施行となった。これにより、自治体に基本方針を策定・実施する責務が課された。本市の取り組みを伺う。 (1) 市の食品ロス削減推進計画策定の準備はどうか。 (2) 市として市内業者への指導及び市民への啓発はどうか。 (3) 学校給食センターにおける対応はどうか。 | | | | 市長 教育長 |

| 質問順序 | 2 | 会派名 | 日本共産党 | 質問者 | 高橋 美博 |
|-------------------|--|-----|-------|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 5 | 市道等愛護活動の推進について 道路愛護報償金制度が平成30年度に創設されたが、本年度の実施状況はどうか。 (1) 報償金制度の予算と活用状況はどうか。 (2) さらなる推進を図るため、予算を増額すべきと考えるがどうか。 | | | | 市長 |
| 6 | 台風・豪雨等大規模災害への対応について 今年は、台風等による強風豪雨により、東日本各地で大災害が発生した。その対応から学ぶことはないか。 (1) 東日本各地で発生した災害への対応、対策の教訓をどう考えているか。 ア 情報伝達、収集はどう考えているか。 イ 浸水地域にある庁舎、避難所はどのように考えているか。 ウ 指定管理となっている公共施設の対応はどうか。 (2) 災害発生時に市の体制は十分か。非常勤嘱託・臨時職員の協力はどこまで可能か。 (3) 災害ボランティアの受け入れ体制について、人材の確保やスキルアップの方策を含め、早期に立ち上げ可能か。 | | | | 市長 |
| 7 | 幼児教育・保育無償化への対応について 今年10月から幼児教育・保育無償化に伴い、保育料に含まれている給食の副食費が実費徴収となったが、全国各地で保護者負担軽減の動きが進んでいる。 (1) 保育園給食費の実費徴収となった副食費へ市の助成はできないか。 | | | | 教育長 |

| 質問順序 | 3 | 会派名 | 緑風会 | 質問者 | 伊藤 謙一 |
|-------------------|---|-----|-----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 1 | <p>SDGsと持続可能なまちづくり</p> <p>国は現在、国連が定める持続可能な開発目標として、SDGsを推進している。</p> <p>SDGs（Sustainable Development Goals）とは、持続可能な世界を実現するための17のゴールであり、地球上の誰一人として取り残さない世界を実現することを目標としています。本市においても、持続可能なまちづくりは、新年度予算において喫緊に取り組むべき課題と感ずるため、以下を伺います。</p> <p>(1) 既に多くの自治体が、SDGs及び持続可能なまちづくりに関して取り組みを始めている。今後策定する次期総合計画、また、新年度予算の取り組みの中で強力的に推進すべきと考えるが、市長の考えを伺う。また、既に取り組む予定であれば、その内容を併せて伺う。</p> <p>(2) 既に地元金融企業ではSDGsを推進する組織体制が敷かれ、地元青年会議所も積極的にPRしていくことを表明している。民間と市が連携協定を結び、SDGsを市民に対して周知していく体制づくりを提案するがどうか。</p> <p>(3) 目標12『つくる責任 つかう責任』と、目標13『気候変動に具体的な対策を』に関して、今後、市民への施策展開はもちろん、市内企業に対しても対話していく必要があると感ずるがどうか。また、今後、市の行う入札や補助金申請の際に、企業評価項目として取り入れられないか。</p> <p>(4) 本市の現状の施策や新たな取り組みの中から、持続可能なまちづくりを実現するために、SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業に取り組む考えはないか。</p> <p>(5) 国は、「SDGsアクションプラン2019」において、SDGsと連動するSociety（ソサエティ）5.0の推進を明記している。来年、2020年を契機として通信技術の大きな転換期となる5Gが国内で稼働し、それに伴う産業の進化が注目されているが、民間数社がこの普及を担っており、その普及に関して都市部と地方では差が出るのではと感ずている。そこで、ローカル5Gの導入を検討すべきではと感ずるがいかがか。</p> | | | | 市長 |

| 質問順序 | 3 | 会派名 | 緑風会 | 質問者 | 伊藤 謙一 |
|-------------------|---|-----|------------|-----|--------------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 2 | 農業施策に関して | | | | 市長 |
| | <p>(1) 茶業に関して</p> <p>ア 厳しい状況が続く茶業において、本市の次年度の取り組みを伺う。本年、茶業従事者から得たアンケート結果をどう活かすのか。</p> <p>イ 本市と本市の茶業従事者だけでは、近年の静岡県や茶業全体の低迷に取り組んでいくことは難しいと考える。県や茶業振興会、JA、地元金融機関や他業種の民間企業と連携を提案するがどうか。</p> <p>ウ 茶業振興として和紅茶を「ふくろい和紅茶」としてブランディングを提案するがどうか。</p> <p>エ 例えば、現在幾つかの飲料メーカーの自動販売機では、来年のオリンピック開催を踏まえ、売り上げの一部を次世代のアスリートの育成に活用すると明記している。また、大井川鉄道沿線の自動販売機でも同様に大井川鉄道の保存のために売り上げを使用すると明記している。例えば、本市の茶業の販促に関して、社会的な付加価値を取り入れたファウンディングを行うことはできないか。</p> <p>(2) その他の農業施策に関して</p> <p>ア 本市の農業振興に関して、YouTube（ユーチューブ）やSNSの活用を提案する。</p> <p>イ 本年11月、市内民間事業者が県内の中でも珍しいオリーブ搾油機を導入した。市内や磐田市、掛川市では、数年前からオリーブ栽培が始まっている。本市は、オリーブ栽培に関し、その将来性についてどのように考えているか。</p> <p>ウ スマート農業に関して、本市の現在の取り組みと次年度の進め方について伺う。</p> | | | | |

| 質問順序 | 3 | 会派名 | 緑風会 | 質問者 | 伊藤 謙一 |
|-------------------|---|-----|------------|-----|--------------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 3 | <p>減災の取り組み</p> <p>2011年以降、震災や津波への対策、原子力災害への対策、また、近年は大雨や土砂災害に対する施策も非常に関心が高くなっていると感じる。過去の教訓から被害を完全に防ぐことは不可能である。また、発生が想定される全ての被害を食い止めようとする、いくらコストをかけても間に合わないことから、減災への取り組みが徐々に一般化し始めている。災害時において、被害の程度が大きいと想定される課題に対して、限られた予算や資源を集中的にかけることで、結果的に被害の最小化を図ることが重要であると感じたことから、以下をお伺いする。</p> <p>(1) 本市の現在の減災に向けた取り組みを伺う。また、新年度予算における減災の取り組みを併せて伺う。</p> <p>(2) 現在、本市では9月及び12月に防災訓練を行っている。いずれも災害発生後を想定した訓練であるが、減災の観点も取り入れ、座学やHUG等のワークショップ形式の訓練も取り入れた訓練の実施を提案するがどうか。また、市民への減災の意識を高めるため、2回ある防災訓練のうち、1回を減災訓練とすることを提案するがどうか。</p> <p>(3) 地域の外国籍市民にも、訓練の参加をお願いするべきだと考えるが、共助としてその周知を市が行うことはできるか。</p> <p>(4) ふるさと防災寄附金に関して、現在の進捗と今後の取り組みは。</p> | | | | 市長 |
| 4 | <p>女性の活躍推進</p> <p>(1) 本市の課長級以上の女性職員の比率に関する推移と、新年度の方向性は。</p> <p>(2) 職員の育休取得率は。また、今後、男女ともに推進していく施策は。</p> <p>(3) 待機児童を持つ家庭に対して、支援を行うことはできないか。</p> <p>(4) 近年、晩婚化・晩産化及び親の高齢化に伴い、ダブルケアの状態にある方がいる。ダブルケアに関して、市民からの相談はあるか。また、担当課が複数ある中で、対応をどのようにしているか。</p> | | | | 市長 教育長 |

| 質問順序 | 3 | 会派名 | 緑風会 | 質問者 | 伊藤 謙一 |
|--|--|-----|-----|-----|-----------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| <p>（5）子育て・介護・働き方は、密接にリンクしている。市内でも、横串を刺した対応が求められるが、情報共有や組織体制は十分か伺う。</p> <p>（6）育児及び介護に関して、男性の活躍も必要である。市内の男女の子育て・在宅の介護従事者の性別の割合や、男女別の市の同施策への満足度調査、課題点を見つける等のために、アンケートの実施を求めるが、どう考えるか。</p> | | | | | 市長 教育長 |
| 5 | <p>市南部旧浅羽地域の取り組み 合併から15年が経過する、市南部旧浅羽地区に関して以下をお伺いする。</p> <p>（1）商工農業の活性化に関して</p> <p>ア 国道150号沿線を含む商業施設活性化策を具体化できるか。</p> <p>イ 小笠山山麓開発、日軽エムシーアルミ(株)跡地の活用の具体化は。</p> <p>ウ 休耕農地への商品作物の具体的な検討結果はあるか。</p> <p>（2）子育て環境に関して</p> <p>ア 同地域の待機児童の現状と改善策を伺う。</p> <p>（3）浅羽支所周辺の副次核機能の強化</p> <p>ア 水道課及び下水道課の移転スペースの活用に関して、検討は進んでいるか。</p> <p>イ 既存文化施設と相乗効果を生む文化施設が望まれるが、その検討に関して進捗は。</p> | | | | 市長 教育長 |